

第 43 回冬期講習会 ヘルスケア計測技術の現状と展望



主催： 一般社団法人 日本光学会

共催： 公益社団法人 応用物理学会フォトニクス分科会

近年、個人の健康志向や国民の QOL 向上を目指す施策などにより、比較的簡便な方法で健康状態を推定するヘルスケア技術が注目を集めるとともに、実用化のためのヘルスケア計測技術が多くの分野において研究されています。しかしながら、現状では光技術を応用して実用化に至った計測技術例は少なく、今後の技術の進展が望まれています。第 43 回を迎える冬期講習会では、このヘルスケア計測技術に着目し、光学技術にとらわれずに多方面から現状の理解と将来展望を学ぶことを目的として、先駆的な研究でご活躍の講師の先生方からご講演をいただきます。この貴重な機会に多くの方のご参加をお待ちしております。

日時： 2017 年 1 月 20 日 (金)

場所： 東京大学本郷キャンパス 山上会館 大会議室 (〒113-8654 文京区本郷 7-3-1)

(地図：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html)

協賛： 映像情報メディア学会、画像電子学会、計測自動制御学会、光産業技術振興協会、情報処理学会、精密工学会、電気学会、日本オプトメカトロニクス協会、日本機械学会、レーザー学会 (一部調整中)

2017 年 1 月 20 日(金)		
9:20	受付開始	山上会館 2 階 会場入り口
10:00 ~ 10:05	開会の辞 日本光学会会長	黒田 和男 (宇都宮大学)
10:05 ~ 10:10	諸連絡	実行委員会
10:10 ~ 11:00	有人火星探査の医学リスクと医工連携の必要性	村井 正 (宇宙航空研究開発機構 (JAXA))
11:00 ~ 11:50	近赤外分光法による非侵襲血糖測定の実状	丸尾 勝彦 (パナソニックヘルスケア株式会社)
11:50 ~ 13:00	< 昼食 >	
13:00 ~ 13:50	皮膚計測を通じて探るヘルスケア	江川 麻里子 (資生堂グローバルイノベーションセンター)
13:50 ~ 14:40	カラー画像からの皮膚色素分離技術とその応用	津村 徳道 (千葉大学)
14:40 ~ 15:30	RGB カメラによる脈波計測と自律神経活動の推定	西舘 泉 (東京農工大学)
15:30 ~ 15:40	< 休憩 >	
15:40 ~ 16:30	輝点アレイ投影技術による日本発/大学発/世界初福祉見守りシステム 開発と商品化	中島 真人 (株式会社イデアクエスト・慶應義塾大学)
16:30 ~ 17:20	ヘルスケア産業における技術の橋渡しと課題	三宅 正人 (産業技術総合研究所)
17:20 ~ 17:25	閉会の辞 実行委員長	有本 英伸 (産業技術総合研究所)
17:30 ~ 19:00	< 懇親会 (無料) >	山上会館レストラン「御殿」

申込方法： 2016 年 10 月に開設予定の日本光学会 第 43 回冬期講習会 参加登録フォームよりお申し込みください (<http://myOSJ.or.jp>)。

参加費： 日本光学会個人会員・応用物理学会個人会員 15,000 円
日本光学会賛助会員・協賛学協会個人会員 20,000 円
日本光学会学生会員・応用物理学会学生会員 1,000 円
非会員 25,000 円 / 学生非会員 4,000 円

参加費のお支払い： クレジットカード払いまたは銀行振込がご利用いただけます。

※ 日本光学会の行事参加割引券 (日本光学会賛助会員対象) がご利用いただけます。

※ 原則として参加費の払い戻し、請求書ならびに領収書の発行は致しません。

参加申込締切： 2017 年 1 月 13 日 (金) 12:00 ※定員 120 名 (先着順)

お問合せ (申込)： 日本光学会事務局 Tel: 03-6905-6406 Fax: 03-6905-6416 E-mail: info@myosj.or.jp

(内容)： 実行委員長 産業技術総合研究所 有本英伸 E-Mail: winter_symp2017@myosj.or.jp